





新たな都市計画のもとで変化していく街並み

# 大橋 復興過程で改正法に対応

山元町支援を通じて感じているのは中小事業体ごとに水源、施設、地理など地域特性に見合った基盤強化策があるということ。包括的業務委託はあくまでもその手法の一つで、改善できる点を発見し、一つひとつの解決策を見出し、事業体に寄り添い、継続的に支援していくのがYWCの基本姿勢です。

上下水道事業の経緯や特徴、業務フローなどが頭にも体にも、そしてデータとしても継承されています。

その象徴的な業務の一つが手塚班長の言われた「停滞水対策です。管網解析から停滞水の解決策を導き出すとともに、水運用の課題解決や今後の施設再構築における施設統廃合の段階的な取り組みを導き出しています。」

31年度で最終年度を迎えることから、現在、第二期に向けた準備を進めています。第一期の検討・導入・モニタリング等の経験が蓄積され、YWCと山元町双方で技術継承を図りながら効果的な事業運営が行われている手ごたえを感じています。

「山元町の基盤強化」昨年未だに改正された水道法への対応は山元町にとっても大切な課題です。一方、改正水道法の内容に触れて感じたことは、横浜市・YWCとの連携の8年間の中で改正法の対応を順次行うことができたということ。それを「なぜ失敗したのか」

で取り組んでいます」と胸を張って答えられる状況です。

「コンセッションの導入を宮城県が検討し、山元町も広域水道を受水していることから町内でも関心は高いです。国会や報道等でも海外の失敗事例が話題になりましたが、われわれが包括的業務委託を導入しているからこそ「なぜ失敗したのか」

改善「点」の取組みが相互につながり、これからは「面」の改善を実現していけると実感しています。

改善「点」の取組みが相互につながり、これからは「面」の改善を実現していけると実感しています。

水道法が一般報道で話題になり、議会や町長からも対応を尋ねられるのですが、私としては「す

双方のリスク、委託仕様の内容とモニタリングの重要性という視点は、包括的業務委託にも共通している大切な要素だと思っています。

そして、皆さんの話にもありましたが、山元町の「基盤強化」の礎はまさに包括的業務委託の導入だったと感じます。

しかし、この導入は、

委託を導入したことで上下水道事業全体を俯瞰したモニタリングが可能となっており、一つひとつの業務改善がいかに経営に寄与していくのかという明確な目的にたどり着くよう取り組んでいます。技術の質もさることながら、業務全体で見た時の経営の質を上げていくという視点をもって取り組むことが重要であると感じています。

# 鈴木 国内支援の一丁目一番地

## 手塚 モニタリングこそ重要に

「私たちがだけではできませんでした。要求水準書の資料作り、契約協議、性能発注に対するモニタリングというプロセスを踏む上で、横浜市・YWCのノウハウのレベルの高さを実感しました。」

「上下一体包括的業務委託を行う以前、下水処理場の運転管理について複数年の業務委託を行っていましたが、仕様書に沿った形の業務を確認し合うことで精一杯でした。YWCの支援のもとで行

った委託との最大の違いは「民間を生かす」という視点だと感じます。まずは、プロポーザルの公募段階から工夫がありました。そして最も異なるのはモニタリングです。言うべきことを言い、課題を改善し、行政も民間と話し合うことで不足する専門的な知見を補っていくことができました。

中小事業体が民間企業をモニタリングするというのは本当に難しいことです。官民相互が改善を図っていくためのモニタリングの大切さに気付くことができませんでした。現在、第一期に向けた準備においても、第一期を踏まえ効果を引き出すという工夫を取り入れていくことを考えています。

鈴木 モニタリングは定期的なチェック、改善等のアドバイス、評価が主な業務です。YWCと

して意識しているのは、委託者と受託者双方の立場や考え方を理解した上で進捗の確認を行い、前例踏襲にならず常に客観性と合理性をもって取り組むことです。町が言いづらいことを言うことも大切ですし、町における技術継承を図る上でもモニタリングこそが重要な取組みと考えています。

大橋 民間企業との委託関係は、時間を経ていくと「昔から知っている」という関係が良くない方向に動く時もあります。大橋 モニタリングを

「でも地方水道事業の基盤強化に貢献していたらと思っています。」

山元町、横浜市、YWCのアルファベットの頭文字をとると「YYY」です。「YYY」の連携を一層深め、改正水道法を機に変化していく水道事業のトレンドにより良い形で対応していけたらと思っています。

鈴木 今後の取組みを充実したものにするためにも、これまでの振り返りを行い、前例に捉われず、常に前向きに、アイデアをもつて支援していきたいと考えています。

山元町との8年間を通じて、多岐にわたる支援を行ってきた結果、現在においてさまざまな地域でお仕事をさせていた

国内支援事業の一丁目一番地は山元町です。今後、山元町には、この地域の上下水道を牽引していくリーダーシップに期待したいです。

地域が盛り上がりつつあることは「基盤強化」の大切な要素だと思います。また、隣接する地域に限らず、遠隔の地域でも結びつくことで生まれるシナジーがあります。YWCとしても、地域を盛り上げ、上下水道事業基盤強化の一助となる「触媒」になれたらと考えています。

3月25日には、YYYの支援協定が更新されます。協定更新を機に新たな進化を山元町から発信していきたいと思

# 小金井 「ともてつくる」大切さ

「包括的業務委託の第二期の準備を着々と進めていかねばなりません。引き続き、より良い事業を構築していくため、YWCのご指導を賜ればと思います。」

大橋 今後は、第一期包括的業務委託の準備が大きな課題となりますが、宮城県の動向を踏まえて水道料金の改定を検討するとともに、広域連携議論への対応についても検討していかなければなりません。3月25日には町長が横浜市に赴き、上下水道事業支援に関する協定の更新を行う予定です。町民にとって最も良い形を横浜市・YWCと

荒 震災から8年経ちますが、復旧・復興を遂げて、山元町が今の事業運営レベルに達していることは信じられない気持ちです。山元町で受援を受け、今は支援する側のYWCで働く立場として山元町の取組みを全国に発信していくことで、少

さいな業務を把握し、内容の理解が進みました。委託により職員がノウハウを失われていくという意見もありますが、YWCのサポートとしっかりしたモニタリングを継続的に行うことで、むしろ行政側の運営のレベルは上がります。そして、行政として残すべきノウハウが明確となり技術継承が図られます。きつちりとしたモニタリングは官民双方の技術を磨いていきます。

鈴木 山元町では、上下水道施設一体、技術・事務一体での包括的業務

手塚 改善が図られている手応えはありながらも、課題はまだたくさんあります。水道事業では水利用の変化に合わせた水運用の改善、下水

手塚 改善が図られている手応えはありながらも、課題はまだたくさんあります。水道事業では水利用の変化に合わせた水運用の改善、下水

# 荒 知見と協働望む地方水道



新たな都市計画のもとで変化していく街並み

さいな業務を把握し、内容の理解が進みました。委託により職員がノウハウを失われていくという意見もありますが、YWCのサポートとしっかりしたモニタリングを継続的に行うことで、むしろ行政側の運営のレベルは上がります。そして、行政として残すべきノウハウが明確となり技術継承が図られます。きつちりとしたモニタリングは官民双方の技術を磨いていきます。

鈴木 山元町では、上下水道施設一体、技術・事務一体での包括的業務

手塚 改善が図られている手応えはありながらも、課題はまだたくさんあります。水道事業では水利用の変化に合わせた水運用の改善、下水

手塚 改善が図られている手応えはありながらも、課題はまだたくさんあります。水道事業では水利用の変化に合わせた水運用の改善、下水

手塚 改善が図られている手応えはありながらも、課題はまだたくさんあります。水道事業では水利用の変化に合わせた水運用の改善、下水



今春に完成予定の新たな町役場庁舎